

平成29年度 第1回高尾山応援基金運営協議会
議事録

日 時 平成29年4月19日(水)

午後4時00分 開会

場 所 高尾599ミュージアム2F会議室

平成29年度 第1回協議会議事録

平成29年4月19日(水)
午後4時00分開会

1. 開会

- ・今回より、事務局が八王子市より八王子観光コンベンション協会に変更。
- ・高尾飲料組合、久保田組合長より辞退の連絡があり、定数が21名から20名になった。

2. 委員出席人数

委員数		出席委員数	
委員	20名	委員	16名

3. 会議

事務局側 司会進行 総務課長 及川純一
委員座長 法政大学教授 杉崎和久

事務局 それでは初めに、定足数の報告をいたします。現在の委員数は20名で、本日出席の委員及び代理出席含めて16名でございます。従いまして要綱4条第1項2号に定める協議会定足数に達しており、本協議会は有効に成立いたしました。

それでは、会議を進める前に、本日の資料の確認をおこないます。

事務局 それではここから議案審議に入らせていただきます。進行は要綱第4条第1項3号の規定に基づき座長がこれに当たることになっております。杉崎座長よろしくお願ひします。

杉崎座長 それでは、座長を務めさせていただきます杉崎です。よろしく御願ひいたします。

では、議題に入ります。第1号議案「高尾山応援基金運営協議会設置要綱の変更について(案)」を事務局から説明願ひます。

事務局 前年度の協議会において、基金運営に管理について意見もあり、運営責任者を座長から会長に変更した。また、文言の整理、また、参加者委員への費用弁償の追加、平成29年4月1日付での旧観光協会の名称変更をおこないました。

杉崎座長 多少補足いたします。前回の会議の中で、基金の管理について、協議会で管理をしてほしいとの意見から協議会の代表が管理することになり、私として辞退させていただき、急きょ、会長を立てることとなった経緯があります。前回の予算の謝礼が396,000円の計上があり、150万円しかない出捐金より支出ではバランスが取れないこととなり、訂正したほうが良いとのご意見もいただき、実費として

交通費を出すこととなりました。また、協会の組織名称の変更による要綱の変更となりました。

第1号議案について何かご質問、ご意見はございますか。

(なし)

ご意見、ご質問はないようなのでお諮りいたします。第1号議案の要綱の変更に御異議ございませんか。

(異議なし)

異議なしと認め、承認されたこととします。

杉崎座長 では、第2号議案「2017年度事業計画（案）について」を事務局から説明願います。

事務局 第2号議案「2017年度事業計画（案）について」説明します。

(資料により説明)

八王子市からの出捐金150万円を初年度は、寄付金がないため、初期費用に80万円を当て、年間の寄付総額を次年度以降に事業費に充当することとし、3年間で原資を使い切る収支計画書である。

杉崎座長 事務局の説明は終わりました。ご意見、ご質問はございませんか。

前回の会議での指摘の中で募金が入っていないのに支出計画はどうかという意見があった。活動に使う事業は寄付金で賄い、事務経費は必ず掛かるので、3年間のランニングコストで使い切るという仮の事務局案考えです。事務局経費を掛けずに行う別の考えもできるが、お金をもらうため、イベントやPRをするということです。

次に、議論のために、私の追加の資料での説明をします。お金がない中で何ができるか前回の意見からまとめました。お金だけでなく、各団体が、応援できることも合わせて考えていく。すでにあることを応援していく。

1つはお金を集めて高尾山のために何かするという考えで①例えば30万円集まったらそれで何ができるか考え、高尾山のために寄付を募る②プロジェクトとして具体的な方がお金を出しやすい例、高尾山の倒木撤去のために、子どもたちが高尾山に親しむためになど③インターネットのクラウドファンディングの活用。

もう1つは高尾山のための観察会、写真コンクールなど基金を使って積極的に魅力を伝えていくことなどアイデアとして出ていました。また、植林や掃除などを行っていきこの基金の意義も知ってもらうなど、そして既存の団体に協力を得ていくなども出ました。

第3号議案ですが、立ち上げをした市の意向で8月11日の山の日この基金が

スタートしたことを方向性だけでもお披露目する。具体的に何をするのかは先送り
にすることと事務局と相談をしている。少なくとも、基金のコンセプトを8月11
日に発表する。そういう背景も踏まえて、収支計画書を議論したい。皆さんの方
からご意見を伺いたいと思います。

佐渡委員 8月11日までコンセプトは決められるのか。行動する人はだれか。

杉崎座長 20人のメンバーであり、関係者になろうかと思えます。関係の方でご協力して
いただける方。8月11日は事務局として考えは？

事務局 詳細はこれからだと思いますが、高尾599ミュージアムで行われるイベントに合
わせて、高尾応援基金のPRや募金活動を開始することになります。募金箱はそ
れまでに制作することになります。協議会メンバーや関係者がそこで活動するイ
メージです。

林委員 何のために募金するのか漠然としている。遠くから高尾山に来られるのだから。
PRとして具体的にトイレを有料化するなどどうか。

杉崎座長 具体的にトイレとなると基金だけでは賄えないと思えます。

坂口委員 出捐金はこれ以上市から出ることはないのか。

志村委員 市の方はこの1回限りで、これ以上は出ません。

杉崎座長 活動をして行く中で、皆さんの声として市へ届けることも大事なことかと思いま
す。

志村委員 8月11日のワークショップイベントの説明をお願いしたい。

事務局 これは当日のイベントの1つとして、関連団体や、学生の方に依頼するなど、高
尾山の魅力を引きだせるような、ワークショップを企画して、高尾応援基金のPR
につなげ盛り上げていくなど想定をしています。

林委員 高尾山に関係する企業や団体に声をかけて協力してくれることも必要である。一
人一人から募金ではあまり期待できない。企業からの方が早いのではないか。

杉崎座長 お金集めに活動するとして、事務局では体制の面で難しいと思われる。

志村委員 支出計画では、市からの要請があった8月壱壱日の山の日イベントで高尾応援基
金のお披露目をしていくのが初期費用に充てており、その後、企業に募金を募った
り、クラウドファンディングを利用したりすることができる。

杉崎座長 平成29年度も募金活動を行うため、その募金額が翌年繰越になるので、収支計
画の繰越金の金額は修正が必要です。3年間の考えはどうですか。

坂口委員 仮に3年間で終了した場合、集まったお金はどう処理するのですか。

杉崎座長 例えばNPO法人の場合、解散するとき返金があるが、この場合は、NPO法人と異なるので、返金はない。他に寄付するようになる。

角 氏 基本お金がないと運営できないのは当然である。基金を集めるのと来た人に募金してもらうのと2つあると思う。協議会、事務局で労力がかけられないので、募金してもらうのが一番ではないか。そのために、知ってもらうことが大切。高尾 599 ミュージアムは情報発信をしているので何のため、という質問に第三者に説明ができるように固めることが重要である。今、599 ではグッズを販売している。そのグッズの販売の一部を募金に充てる特定の商品を作っています。

杉崎座長 一番具体的にお金が入る仕組みを提供していただければと思います。収支に繰越し金のところを修正していただき、概ね、この方向性だけは、ご承認いただきますでしょうか。

(了承)

ご異議がないようなので第2号議案はご承認いただきました。

続きまして第3号議案「今後のスケジュール案」に移ります。議案というよりは、報告内容で皆さんの情報共有にしたいと思います。事務局説明願います。

事務局 (別紙にてスケジュール案を説明)

協議会は年6回開催。前半は8月11日の山の日イベントに向けて準備、そして、募金のコンセプトを固める。それ以降募金活動や事業の内容を決定していく。

杉崎座長 事務局の説明は終わりました。

8月11日はすぐ来てしまい。その時点では募金箱は間に合わない。ただ、高尾 599 ミュージアム側のご厚意で、募金箱デザイン案を進めていますので期待しております。もう一つは、募金内容を伝えるリーフレットの作成です。デザインも合わせて進められています。6月の協議会では途中経過で報告をする予定です。7月には、市長の募金のお披露目も含めた記者会見があります。8月11日のイベントの内容や役割なども6月になろうかと思います。私も学生に協力してもらうことも考えており、皆様の中でも組織や所属でできることをご提案いただければと思います。

ご意見、ご質問はございませんか。ないようですので、具体的に次回お示するというのでスケジュールのご報告でご了解いただきたいと思います。

それでは、ここで、また、必要な事項、意見、感想などお一人ずつお話しいただきたいと思います。

船江委員 何をやるのか目的をはっきりすることが重要。7月の市長の挨拶も気になるところです。あと一回の会議でまとめられるのか。会議の前に情報共有が必要ではないか。

天野委員 お金を集めるのは難しいと思う。富士山入山の5合目で入山者に1,000円の寄付を募ってステッカーやキーホルダーを渡した。高尾駅構内にチラシやポスターなど協力できる。

坂口委員 お金を集めるうえで何をどう使うのか。高尾山では魅力を発信しているが、それ以上のものが必要。クラウドファンディングも必要か。

小宮委員 まずは8月11日まで何のために募金をするのか準備を進めてほしい。

林委員 599でのステッカーなど費用はどうするのか。

佐渡(博)委員 市長の記者会見をする以上しっかり考えを固めていく必要がある。

佐渡(勝)委員 地元や商店街等でしっかり協力していきたい。

屋代委員 募金箱を置くのは可能だが、緑の募金箱もあり、1つにした場合、案分など難しくなる。

増田委員 国なので積極的に募金活動は難しいが、できることは協力していきたい。

角氏 599は来山者との接点でもあるのでしっかり協力していきたい。

橋本委員 八王子生まれで高尾山には思い入れがある。ミュッシュラン三ツ星で有名になり、みらいに残せるようしっかり取り組んでいきたい。

青木委員 環境保全課で森林保全、緑化推進を行っている。緑の保全基金もあるが十分ではない状態に変わっている。関連もあるので、いい形できっかけづくりにつなげたい。

高橋委員 都市計画のまちづくりを進めている。本日の議論の中で、募金の用途をはっきりさせるのがポイントである。

杉浦委員 京王線沿線に観光施設がある中、観光客も多いので、お役に立てるよう努力していきたい。協力するためには、何のために何をするのか明確になっていることが重要。

杉崎座長 ありがとうございます。次回の協議会では間に合わないので、6月まで何人かの有志、協力できる方で集まり事前に協議を進めたい。また、この基金については、八王子市が呼びかけたわけですから、その責任として市の観光課がこの目的のたたき台を作ってもらいたい。

以上で第2回協議会を終了します。

事務局 次回は6月14日(水) 高尾599 ミュージアム2F 会議室 16:00開始

協議会委員出席者名簿

出席委員	欠席委員
1. 船江 栄次 委員	1. 尾形 功 委員
2. 杉浦 昌平 委員	2. 大野 彰 委員(会長)
3. 天野 守 委員	3. 山本 通陽 委員
4. 坂口 俊章 委員	4. 石井 征二 委員
5. 小宮 猛 委員	5. 滝本 慶三 委員
6. 角 実 氏(代理)	6. 松本 晃一 委員
7. 林 康男 委員	
8. 佐戸 博 委員	
9. 佐戸 勝一 委員	
10. 志村 勝 氏(代理)	
11. 屋代 忠幸 委員	
12. 増田 茂 委員	
13. 杉崎 和久 委員(座長)	
14. 橋本 光太郎 委員	
15. 青木 一浩 委員	
16. 高橋 徹雄 委員	